



～自立と家族を支える～

「自立」すなわち、自らが望むことを自分の意思で実現できることは、生きる上での大きな力になります。認知症のある人は、その症状のために、日常生活の自立が困難になりがちです。しかし、その原因を見極め、適切な環境や機器、ケアを整えることができれば、認知症のある人も手がかりや助力をもとに、自らの判断で取るべき行動をとることが可能になります。また、認知症のある人が主体的に生きられるようになることは、「家族」が介護者と被介護者という供与・依存関係ではなく、互いに理解し、助け合って暮らす親子や夫婦という本来の姿で暮らせるようになることにもつながります。

今回のシンポジウムでは、「主体的な暮らしの実現」に、行政職、作業療法士、当事者、ソーシャルワーカー、家族、研究者という異なる立場から取り組む6名のシンポジストを迎え、みなさんと一緒に、「自立と家族を支えるためにできること」を考えたいと思います。

開催日時 2007年12月8日(土) 13:00-17:10 (開場:12:30)

会場 国立身体障害者リハビリテーションセンター学院 (地図: 裏面 ※)

主催 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所

会費 無料 (◎交流会 参加費: 500円)

●プログラム●

開会挨拶

第一部
(13:00-14:30)

- 佐々木 健 (厚生労働省 老健局計画課 認知症・虐待防止対策推進室)
～新健康フロンティア戦略における認知症研究の位置づけ～
- Ingela Månsson (Swedish Handicap Institute)
～ASSISTIVE TECHNOLOGY SUPPORTING PEOPLE WITH DEMENTIA AND THEIR RELATIVES
認知症のある人と家族を支援する福祉機器～

逐次通訳(英日)がつきます。

休憩

第二部
(14:45-15:50)

- 中村 成信 (若年認知症家族会 関東部会 彩星の会)
～暮らしの工夫事例～
- 島村 淑子 (社会福祉法人 浴風会 グループホーム「ひまわり」)
～認知症の排泄ケア ―グループホームでの取り組み―
- 山崎 正人 (スタジオ代、東海大学 文明研究所)
～道具・空間・視覚伝達系デザインを取り入れた実母の在宅ケア実践例～

休憩

第三部
(16:00-17:10)

- 井上 剛伸 (国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部)
～「何をしたか?」「今がいつか?」「これから何をするか?」を知ることの支援研究～
- 全体質疑

閉会挨拶

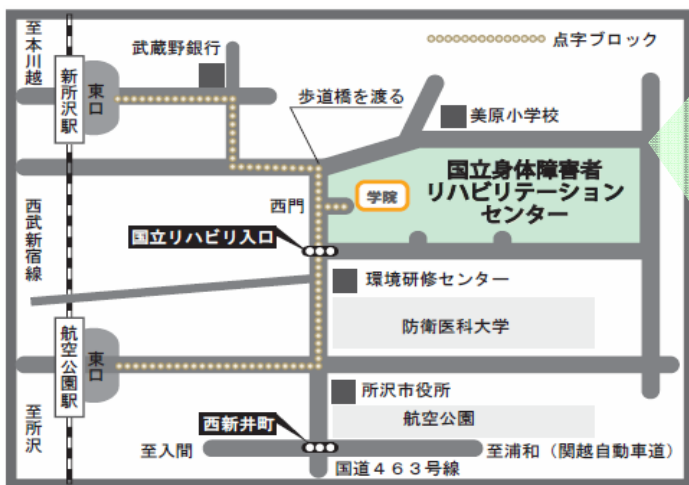
◎交流会 (17:30-18:30)

本シンポジウムの最新プログラムは、(<http://www.rehab.go.jp/ri/event/eventj.html>)をご覧ください。

●シンポジスト紹介●

佐々木 健	厚生労働省 老健局計画課 認知症・虐待防止対策推進室 認知症対策専門官
Ingela Månsson	スウェーデン、および北欧リハビリテーション技術開発センター (NIUH) のプロジェクト「Technology and Dementia (認知症と福祉機器)」の統括責任者。長年の臨床経験を活かし、機器を用いた生活改善の研究を行っている。
中村 成信	昨年、ピック病の診断を受ける。デジタルカメラで写真を撮ったり、その写真を挿絵にした日記をパソコンで書いたり、自分の興味と能力を生かすために、機器を生活に積極的に取り入れている。
島村 淑子	個人に応じた排泄リズムを見つけ、自然にトイレに行けるように気を配るケア手法により、おむつ外しを実現している。アートセラピー（芸術療法）や音楽療法、クッキングなど、心を活かすケアを大切にしている。
山崎 正人	フリーランスデザイナーとして機器デザインに従事。縦断研究として全期間の在宅ケアが一望できる資料を制作。実施した環境配慮（工夫）と残存能力の見極めにデザイン領域の手法がどの様に関与しているか検証中である。
井上 剛伸	これまでに、重度障害者の移動を支援する福祉機器の開発研究および個人にあわせた適合サービスに従事。現在、その経験を活かし、認知症者の自立した生活を支援するための機器の研究に取り組んでいる。

●シンポジウム会場● ※



国立身体障害者リハビリテーションセンター学院

西武新宿線 航空公園駅 東口 または 新所沢駅 東口
から 徒歩 15 分

申し込み・問合せ先

住所： 〒359-8555 埼玉県 所沢市 並木 4-1
Eメール： dementia@rehab.go.jp
FAX： 04-2995-3132
電話： 04-2995-3100 (6548)
担当： 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部 石渡・武澤



「認知症のある人の福祉機器展示場」見学会 同時開催！

認知症のある人の福祉機器の展示場が当センター敷地内にオープンします。

「服薬の時間を伝える薬入れ」「ボタンを1回押すだけでかかる電話機」など、認知症のある人の暮らしを支える福祉機器を国内外から取り寄せました。福祉機器を見て、触って、体験してみたい方は、見学会にも、ご参加ください。

集合時間： シンポジウム当日 10:50

集合場所： シンポジウム会場

●申し込み方法●

下記の「**申込み書**」の受け取り（お一人様につき一枚）をもって、お申し込み完了とさせていただきます。
参加を希望される方は、下記の内容をお書き添えの上、上記の宛先まで、Eメール、FAX または郵送でお送りください。

〆切 11月30日（期日を過ぎた場合は、直接会場まで、お越しください）

あてはまるものに チェック してください

フリガナ 氏名	立場 (複数 回答可)	☐ 家族 ☐ 当事者 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☐ ソーシャルワーカー ☐ ケアマネージャー ☐ ヘルパー ☐ 看護師 ☐ 医師 ☐ 開発者 ☐ 研究者 ☐ 学生 ☐ 一般 ☐ その他()			
〈所属〉					
連絡先	住所	〒	電話	FAX	
			Eメール	@	
◆交流会 ☐ 参加する ☐ 参加しない			◆「認知症のある人の福祉機器展示場」見学会 ☐ 参加する ☐ 参加しない		
◆情報保障（ご相談に応じます） ☐ 要約筆記が必要 ☐ 手話通訳が必要 ☐ その他()					